

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・パークハウス追浜(E棟) 新築工	階数	地上7F、地下1F
建設地	横須賀市追浜東町2丁目3番1他10	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	384 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2012年2月10日
敷地面積	4,493 m ²	作成者	株式会社安宅設計
建築面積	1,513 m ²	確認日	2012年2月13日
延床面積	7,889 m ²	確認者	株式会社安宅設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

建設	71%
修繕・更新・解体	71%
運用	71%
オンサイト	71%
オフサイト	71%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項	
総合 全体計画は、「丘の上の"Garden City"空と街(天と地)をつなぐところ」をテーマに追浜の次世代の中心となる丘として中央の公園と西・東の2本のまち軸が「賑わいのまち」と「自然と調和するまち」を創りだすような計画となっている。 また、建築計画では、丘の上にエコ生活が展開するというテーマで計画がなされている。	その他 0
Q1 室内環境 ・住居部分は、窓を大きく設けて昼光利用をし、採光に配慮する。 ・仕上材を厳選し、ホルムアルデヒド等の化学汚染物質の発生抑制に配慮する。	Q2 サービス性能 ・Gbitクラスの通信回線設備に対応している。 ・躯体、空調配管等、耐用性に配慮する。 ・通信設備が非常時に建物機能が維持できるように配慮する。
LR1 エネルギー ・太陽光発電を利用し自然エネルギーの変換利用に配慮している。 ・高効率な照明器具を採用。電気ヒートポンプ式給湯器を採用。	LR2 資源・マテリアル ・ハロン消火剤を一切使用せず、汚染物質の使用回避に配慮する。 ・断熱材は全てノンフロンを採用し、汚染物質の使用回避に配慮している。
	Q3 室外環境 (敷地内) ・豊富な緑地を設けて温熱環境や生物環境の向上に配慮する。 ・周辺からの景観に配慮し、街並みの調和に配慮する。
	LR3 敷地外環境 ・大気汚染防止に配慮した設備機器の採用。 ・新たに外構緑化を設け、敷地外への熱的影響削減に配慮する。 ・十分な駐車スペースを確保し、敷地外への交通負荷抑制に配慮する。 ・屋内・屋外から外に漏れる光へ配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい